

2024年度 稲盛科学研究機構（InaRIS） フェローシッププログラム 募集要項

公益財団法人 稲盛財団

稲盛財団では、下記要領で2024年度稲盛科学研究機構（Inamori Research Institute for Science: InaRIS）フェローシッププログラムへの募集を行います。

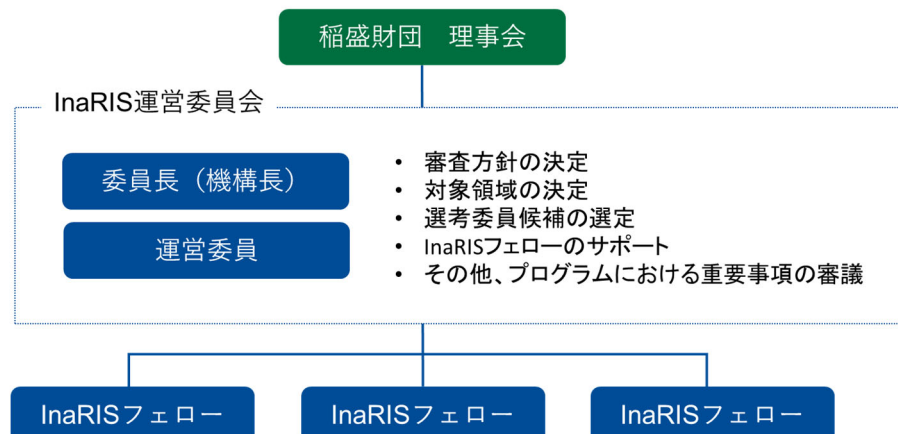
1. InaRISフェローシッププログラムの趣旨

本プログラムは、「人のため、世のために役立つことをなすことが、人間として最高の行為である」という稲盛財団創立者 稲盛和夫の理念に基づき、基礎科学の研究者を長期的に応援し、さらには、将来的に日本の科学を牽引する人材の育成を支援することを目的としています。選ばれた研究者は、1年あたり1,000万円の研究助成を10年間にわたって受けるとともに「稲盛科学研究機構フェローシッププログラムフェロー」（InaRISフェロー）の称号を名乗っていただき、自身の実績に立脚しながら、たゆまぬ探究心に基づいた長期的な視野で挑戦的な研究を推進し、新しい分野の開拓、発見や発明によって、研究者としてより一層飛躍することを期待します。InaRISフェローシップは、研究課題だけではなく、研究者の持つ志や熱意、そして未知なる領域へのあくなき挑戦心、すなわち「人」そのものを応援する制度です。

2. InaRISの運営

InaRISはキャンパス・建物を持たないネットワーク型の研究機構（仕組み）です。稲盛財団は、個人単独の力だけではなく、交流によって生み出される創造力も重要視しています。つまり、InaRISフェロー同士を繋げ、切磋琢磨する場を作ります。InaRISの運営については、運営委員会が審査方針の決定、選考委員候補の選定、フェローへのサポートを行います。フェローの選考は運営委員会とは別に設けた選考委員会により行われます。フェローは自らの所属する大学・機関で研究活動を行います。運営委員会のメンバーや、他のフェローとオープンな意見交換も行いつつ、研究を推進していきます。

InaRIS 運営体制



3. 募集対象

① 対象とする研究

2024年度は「異分野コンバージェンスによる革新的医療の創出」に関する研究を対象とします。

医学とは、概して生体の構造や機能（生理学）と、疾病の発症・進展因子（病態生理学）について研究する学問であり、疾病の予防および治療によって健康を維持、および回復するために発展した様々な医療を包含します。すなわち医療の進歩・発展には医学の探求が必須であり、現在の臨床で標準医療として用いられているものは、先人の基礎医学研究をもとに社会実装されたものです。

医療は日々大きく進歩してきていますが、いまだ予防法や治療法のない疾患や、アンメットメディカルニーズも多くあるのが現実です。現在の医療にブレークスルーをもたらすのは、基礎科学における革新的イノベーションです。パンデミックを引き起こした新型コロナウイルスに対するワクチンの迅速な開発には、長年にわたる生体へのmRNAデリバリー技術の研究が大きく貢献しました。また、CRISPR-Cas9システムを用いたゲノム編集技術は、遺伝性疾患への治療応用に向けて臨床試験が進められています。

革新的イノベーションは、単一の学問領域で起こることは極めて稀です。近年、従来は互いに接点のない異なる分野や技術が、特定の目的を達成するために融合・統合しながら新しい分野や技術を確立させていく、科学研究の新モデル「コンバージェンス（収斂）」が注目されています。情報技術、材料および関連分野のコンバージェンスが物理学に変革をもたらしたように、遺伝子工学、ナノテクノロジー、認知科学、ロボット工学といった最先端テクノロジーと医学研究とのコンバージェンスにより、パラダイムシフトが促され、新しい医療を生み出すことができると考えています。

このような現状を鑑み、常識に縛られることなく、10年先あるいはその先を見越して、以下のような視点を通じて、医療の進化を目指す卓越した研究提案を募集します。

- 人類、社会にとって、「医学・医療」の究極のゴール（ビジョン）は何か、また現在の医療におけるアンメットメディカルニーズを明確にする。
- アンメットメディカルニーズを満たすために、既存技術の単なるアップデートではなく、どのような分野・技術のコンバージェンスが必要となるかを明確にする。
- コンバージェンスによる革新的イノベーションを医療として社会実装するための真の課題とその解決法を明確にする。社会実装のために新たなコンバージェンスの必要性も考慮する。

② 申請者の資格

下記a.からd.の要件をすべて満たす方とします。

- a. 日本に居住し、募集案内を送付した大学・機関に所属し、常勤で雇用されていること。（注1）
- b. 独立研究者で、大学所属の場合は准教授以上とする。
大学以外の所属の場合は上記に相当するものとする。
- c. 助成年度開始時に50歳以下であること。（2024年4月1日時点）
- d. 稲盛研究助成を受けている方は、その研究期間が2024年4月1日時点で残っていないこと。

注1：任期付きの職でも可。ただし申請時および2024年度（2024年4月～2025年3月）まで申請時と同じ所属機関に雇用が保証されていること。なお、2024年度中は申請時と同じ機関で研究を行うことが望ましい。

※本プログラムは、研究者の多様性を重視し、性別、国籍問わず様々な研究者を支援するものです。特に女性研究者からの積極的な応募を歓迎いたします。

4. 本制度の概要

① 採択人数と助成金額

2024年度のInaRISフェローは、募集対象から2名を選びます。フェローに選ばれた方には、研究費として毎年1,000万円を2033年度までの10年間にわたり助成します。また、毎年1,000万円の直接経費に加え、100万円を上限とする間接経費を研究機関に支払います。なお、本助成を稲盛財団の他の助成と重複して受けることはできません。

② 助成金の使途および管理

助成金は所属機関の定めにより適切に管理していただきます。あくまで本人の研究活動のために必要な費用としてご使用いただきます。ポストドクや研究を補佐するスタッフの件費として使用することは可能です。また、以下の使途としては使用できません。

- ・フェロー本人、および申請者の親族もしくはそれと同等の親密な個人的関係者を雇用した場合の件費。
- ・研究目的に合致しないもの。
- ・間接経費による支出が適当と考えられるもの。

③ 研究期間

2024年4月より、10年間とします。

④ フェローの責務

フェローの責務は下記の通りとします。

- ・対象研究の論文には本人の所属に「Inamori Research Institute for Science」（注2）も記載する。
注2：本務先と併記 和文の場合は「稲盛科学研究機構」
- ・フェローに選ばれた年のフェロー授与式への出席。
- ・年に1度のアドバイザリーボード（注3）への出席、進捗状況の報告。
注3：機構長および運営委員により構成されます。
- ・1年ごとの会計報告書提出。
- ・年に1度、稲盛財団による研究室訪問の受入れ。
- ・3年目および6年目に中間報告書の提出と、中間審査への参加。中間報告書は公開します。
- ・期間中に1回以上稲盛財団のアウトリーチ活動への協力。
- ・終了後1ヶ月以内に報告書を提出。報告書は公開します。
- ・終了後の成果発表会開催。

その他、稲盛財団の主催する行事への出席、出演をお願いすることがあります。

⑤ InaRISフェローの決定

2024年3月に決定し、対外発表します。なお、結果につきましては申請者本人に通知いたします。

⑥ 助成金の贈呈時期

初年度は2024年4月に贈呈いたします。以後、毎年4月に振り込みます。

⑦ 助成の停止

育児休業等を取得される場合は、一旦助成を停止し、研究を中断する期間に応じて研究期間を延長することができます。

また、後出の不正使用、不正受給、不正行為について疑義が持たれた場合に助成を停止することがあります。当該停止の原因が解決または終了したと財団が判断した場合は助成を再開し、不正として確定した場合は後出⑨を適用します。

⑧ 助成の中止

以下の場合は助成を打ち切り、残金を返還いただきます。部下や同僚の方が残金を使用することは認められません。

- ・ 本人が死去、または病気等により研究の継続が著しく困難になった場合
- ・ 海外の研究機関に異動した場合
- ・ 本人が下記以外の研究機関に異動するなど、活発な研究活動が不可能になった場合
 - 1) 大学、および大学共同利用機関
 - 2) 国の機関、地方公共団体の機関・地方独立行政法人
 - 3) 独立行政法人・国立研究開発法人・独立行政法人等登記令別表に掲げる法人
 - 4) 「文部科学大臣指定の機関」のうち公益財団法人である研究機関

* 短期大学、高等専門学校は不可
- ・ 稲盛科学研究機構の名誉を著しく傷つけた場合

⑨ 不正使用、不正受給又は不正行為への対応

下記が判明した場合、助成金の一部または全額を返還していただきます。また、以後の助成は行いません。

- ・ 申請書類記載内容において事実と異なる記載があるなど、不正に本助成を受けた場合（不正受給）
- ・ 本助成以外も含め、研究費の不正使用があった場合
- ・ 研究活動において不正行為があった場合
- ・ 稲盛科学研究機構の名誉を著しく傷つけた場合

※不正受給、不正使用、不正行為の定義については科研費に準じます。

- ⑩ 発明等に係る知的財産権の取扱いについて
本助成により生じた成果はフェローに帰属しますが、特許権等の知的所有権の取扱いについては、所属する研究機関の規程などに従ってください。
- ⑪ 研究倫理について
所属機関の研究倫理に関する各種規程や指針に従ってください。

5. 選考

- ① 選考プロセス
 - ・ 選考委員会が、「稲盛科学研究機構フェロー申請書」に基づいて選考し、まず数名の候補者に絞り込みます。
 - ・ 候補者に残った方には2023年12月23日に面接審査を行います。稲盛財団にて、選考委員に対して発表・質疑応答を行っていただきます。（代理出席不可）
 - ・ 選考委員会によりInaRISフェローを内定します。
 - ・ 2024年3月の理事会において正式決定いたします。
- ② 主な選考基準
 - 「人」に助成するという趣旨をふまえ、以下の要素を参考にしながら、申請者の研究に対する姿勢、考え方も含めて、総合的な観点で選考されます。（順不同）
 - ・ 独創性：独自の着眼点に立脚し、重要な発見や発明につながっているか。
 - ・ 革新性：従来の考えに捉われない革新的な要素があるか。
 - ・ 国際性：世界の潮流の中で国際的に認められる新規性と一般性を持つか。
 - ・ 継続性：十分な研究実績を持ち、さらなる飛躍を意図しているか。
 - ・ 連続性：研究内容に助成期間を通した一貫性があり、10年間の助成にふさわしいか。
 - ・ 発展性：長期的視野に立った新しい分野の開拓につながるか。
 - ・ 社会性：人類社会に貢献し人間の叡智を示すものであるか。

6. 申請手続

- ① 申請方法

当財団のwebサイトより、下記の要領にて申請してください。募集締切までにwebシステムを通じた申請手続きが完了していない場合は、いかなる理由があっても審査の対象とはいたしません。

 - ・ まず、稲盛財団webサイトのトップページ (<https://www.inamori-f.or.jp>) にアクセスし、「研究助成」から「申請」のタブを選択して画面下部のバナー「InaRIS 申請専用サイトへ」をクリック。
 - ・ 画面のガイドに従ってマイページを取得。
 - ・ マイページにログインし、申請書編集画面に進み、内容を入力後「保存する」をクリック。この際、申請者が複数の部署に所属していても、入力する部署は必ず1つとし、複数は入力しない。

- ・前の画面に戻り、「申請者表示」をクリックして生成されるPDFデータを印刷し、本人押印後、カラーのPDFデータをアップロード。(注4)

- ・以下で入力する文字はMSPゴシックの11ポイントを厳守のこと。

- ・「研究者としてのアピールポイントおよび考え方」から「他の助成金・補助金・奨励金受領状況」までのページは、ワードファイルをダウンロードし、内容を記入の上PDFデータをアップロード。その際、「他の助成金・補助金・奨励金受領状況」(14ページ) 以外はページの追加、レイアウト、余白の変更は不可。

- ・「現時点で想定される主な用途(初年度分)」の欄には、大まかな金額も記入。

- ・推薦者ページ(15ページ)はワードファイルをダウンロードし、推薦者による必要事項記入、および推薦者の公印を押印後、カラーのPDFをアップロード。(注4)

- ・代表論文(10報まで)をアップロード。

② 推薦者

本申請には、申請者の所属する研究機関の代表者(例：大学の場合は学長、大学共同利用機関法人の場合は機構長、国立研究開発法人の場合は理事長、公益財団法人の場合は理事長)の推薦を必要とします。推薦者は、申請者が本要項の3の②の応募資格を有すること、すなわちa.日本に居住し、当要項を送付した大学・機関に所属し、常勤(任期付の職でも可)で雇用されていること、b.独立研究者で、大学所属の場合は准教授以上であること、c.助成年度開始時(2024年4月1日時点)に50歳以下であることと、稲盛財団より貴研究機関に支払う間接経費は100万円を上限とすること、およびフェローの責務について確認の上、ご推薦ください。なお1機関あたり応募は4件までとします。所定の様式にて推薦書を作成し、推薦者の記名(印字、ゴム印も可)・公印を押印の上、アップロードしてください。推薦者の方におかれましては、本制度の趣旨をご理解いただき、ふさわしい方をご推薦いただきますようお願いいたします。

③ 照会先

申請者の研究活動について、よくご存じの方を2名挙げてください。申請者の所属機関の長である必要はありません。そのうち、少なくとも1名は日本語で本申請内容が理解できる方とし、それぞれの方の氏名、所属、連絡先(電話/電子メールアドレス)をご記入ください。選考の過程で、照会する場合があります。なお、照会先となることについての了解を予め取得しておいてください。

④ 募集期間

2023年5月22日(月)9:00から2023年7月27日(木)17:00まで

募集締切までにwebシステムを通じた応募手続きが完了していない場合は、いかなる理由があっても審査の対象とはいたしません。

7. 個人情報の取り扱いについて

申請書に記載された個人情報は、下記の用途に限り使用いたします。

- 選考(注5)および選考結果の通知。

注5：申請書は照会先の方に見ていただく場合があります。

- フェローに決定した場合の、対象者の氏名、所属、役職、研究題目、研究概要（注6）の公表、およびその後の各連絡。

注6：公表する研究概要は、改めて本人に作成いただきます。

- フェローに決定した方の推薦者への、フェロー授与式の案内状の送付。

8. その他

- ① 選考委員会での審査内容については、いかなるお問い合わせにも応じられません。
- ② 1機関あたり5件以上の応募があった場合はその機関から応募された全申請を無効とします。また、申請資格要件を満たしていない場合、申請書類に不備があった場合も無効とします。

③ お問い合わせ先

〒600-8411
京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町620
公益財団法人 稲盛財団 助成部
Tel: 075-746-2543
E-mail: inaris@inamori-f.or.jp

- ④ 当財団の事業内容については稲盛財団webサイト (<https://www.inamori-f.or.jp>) をご覧ください。

2024年度
稲盛科学研究機構(InaRIS)
フェローシッププログラム
申請書

2023年 月 日

公益財団法人 稲盛財団 御中

申請者

氏名(ふりがな)

(西暦 年 月 日生 歳)

所属機関・学部 (もしくはそれに準ずる部署名)・役職 (正式名称)

任期

任期の定めあり (西暦 年 月から 年 月まで)

任期の定めなし

所属機関住所 〒

Tel: - - E-mail:

下記の通り貴財団の稲盛科学研究機構フェローに応募いたします。

記

長期的な研究テーマ(和文)(30字以内)

長期的な研究テーマ(英文)

研究のキーワード(5キーワード以内)

研究の概要(600字以内)

科学的な問い・目的・内容・背景等を簡潔に。専門外の選考委員にも理解できるように。

※14 ページ(外部資金受領状況)以外の増ページ、レイアウト変更・枠の拡大はしないでください。

1. 研究者としてのアピールポイントおよび考え方

「このような分野を切り開いてきた」、あるいは「このような他の人にない発想を持っている」、研究者として大切にしていること、ベースにしている考え方 etc

2. 本研究を推進する動機および抱負

3. 申請者の略歴

4. 申請者の主な著書・論文・特許(計 10 冊/報まで)

総説を含めても結構です。共著・共同論文の場合は全員の氏名を明記し、ご自分の氏名には下線を引いてください。その中で特に重要な 5 冊/報について、その重要性をそれぞれ 200 字程度以内で説明してください。非常に多数の著者からなる場合は 10 名までの記載とします。

4. 申請者の主な著書・論文(計 10 冊/報まで)(つづき)

5. 研究目的・背景・内容(詳細)

5-1. 科学的な問いおよび目的

5-2. 着想に至った経緯とこれまでの研究実績

必要な項目については参考文献(雑誌名)を記入してください。

5-3. 本研究分野の国際的な視野に立った現状の説明

重要な項目については参考文献(筆頭著者、雑誌名、年も含む)を入れてください。

5-4. 本研究の内容

本研究の内容(つづき)

6. 本研究開始後 3 年間の具体的研究計画

7. 本研究の学術的独自性と創造性

8. 現時点で想定される主な使途(初年度分)

(「人件費」「装置」「試薬等消耗品」「旅費」など使用目的が明らかになるように記入ください)

9. 申請者の研究活動についての照会先(2名)

(照会先となられることについて、必ず申請書提出前に本人に了解を得ておいてください)

氏名:

所属・役職:

Tel:

— —

E-mail:

氏名:

所属・役職:

Tel:

— —

E-mail:

10. 研究資金の獲得状況

(次ページ記載の、現在支給されている研究の内容と本申請との関係について、解説してください)

2021年度以降受領の、他の助成金・補助金・奨励金があれば、受領予定のものを含め、公的・民間問わず全て記載してください(分担研究者である場合も含む)。

(1)受領期間 (2)支給団体名 およびプログラム名	代表/分担の種別 どちらかに○ ----- 分担の場合は代表者の氏名・所属名	研究課題名	金額 (直接経費) (単位:万円)
(1) 20 年度～ 20 年度 (2)	・代表 ・分担 -----		申請者への 配分額 ----- 総額
(1) 20 年度～ 20 年度 (2)	・代表 ・分担 -----		申請者への 配分額 ----- 総額
(1) 20 年度～ 20 年度 (2)	・代表 ・分担 -----		申請者への 配分額 ----- 総額
(1) 20 年度～ 20 年度 (2)	・代表 ・分担 -----		申請者への 配分額 ----- 総額
(1) 20 年度～ 20 年度 (2)	・代表 ・分担 -----		申請者への 配分額 ----- 総額
(1) 20 年度～ 20 年度 (2)	・代表 ・分担 -----		申請者への 配分額 ----- 総額

申請者への配分額と総額の両方を記載ください。(申請者が全額受領している場合には同じ額を両方に入れる) 受領開始から受領終了までの受領期間および金額をすべて記入してください。

推薦者(大学あるいは機関の代表者)

本申請者が公益財団法人稲盛財団による稲盛科学研究機構フェローの申請資格に合致することを証し、フェローの責務についても承認し、間接経費の上限についても確認の上、本申請を推薦いたします。

推薦者所属機関・職名

(公印を押印ください)

推薦者氏名(ふりがな)

印

申請者氏名

推薦理由(400字以内)

推薦者住所 〒

電話番号

— —

本件に関わる事務担当

所属部署(役職)

氏名

電話番号

— —

E-mail